

建物探訪

中原区 井田保育園
—社会福祉法人 長寿福祉会—

「保育園を続けながらの難工事 その建て替えノウハウは見事でした」



長瀬学 園長より



旧園舎も先々代(祖父)の時代に大山組さんに建てて頂き、お付き合いも今年でちょうど40年になります。その間も細かなメンテナンスをして頂いたり、平成12年には園舎の増改築も手掛けて頂くなど、地域密着ならではの関係が続いてきました。そんな中、今回建て替えをお願いすることとなり、これまでの信頼を礎に安心して工事をお任せすることができました。



近隣に建てた仮設園舎で園の運営を続けながら建て替えるという予想のつかない工事でしたが、園行事に支障の無い工事計画と管理をして頂いたおかげで、新園舎への引っ越しやそこでの卒園式開催も含め、全てを予定通りに進めることができました。

福祉施設作りの豊富な経験からくる大山組さんの提案やアドバイスのおかげで、関係者一同が満足する新園舎となりました。

社会福祉法人 長寿福祉会



川崎市内に井田保育園とあわせ4園を運営する社会福祉法人長寿福祉会さん。現理事長兼井田保育園園長の長瀬学さんの祖父、長瀬瀨次郎氏が、その昔田植えや稲刈りの時期に、井田神社が農家の子どもたちを預かっていた農繁期季節保育をヒントに保育園を始めました。

現理事長もその志を受け継ぎ、「子どものために」という思いを基本に、社会に役立つ人間になる基礎は健康と考え、安心・安全を第一に土や木などの自然に触れ合える環境作りに日々取り組まれています。



長年かけて築いた信頼を礎に 40年ぶりに新園舎が完成!

川崎市内で50年にわたって保育事業を手掛けている社会福祉法人長寿福祉会さん。市内に4カ所ある保育園の1つ、井田保育園の建て替えをこの春40年ぶりに行いました。

40年前に旧園舎ができた時の収容人数は60名。その後、街の再開発と人口増加に伴い、増改築を行い120名にまで増やしました。しかし、旧建築基準法下で作った建物を現基準法を満たすように改築することは構造的に難しく、園庭を犠牲にして棟を増やすと

いう拡張方法しかとれませんでした。

今回の建て替えは、それら園舎が長年抱えてきた課題を一度に解決する抜本的なリニューアル。太陽光の降り注ぐ園舎と広々とした園庭の復活、棟が一つになることで可能となった一体感のある園生活、災害時には近隣のお年寄りにもやさしい避難場所としてなど、130名収容可能な、保護者や職員が長きにわたって持ち望んでいた新園舎の完成です!

- 【物件概要】○名称/井田保育園
○構造規模/鉄骨造2階建 ○敷地面積/1308.2㎡
○延床面積/903.8㎡ ○所在地/川崎市中原区井田
○設計/株安江設計研究所 ○施工/株大山組

福祉施設の新築・改修 すべてお任せください!

福祉のファシリティ作りには
経験がものを言います。

お電話1本ですぐにお伺いいたします。



0120-6600-62

受付時間 8:00~17:30 月~金 *土日祝休
www.ohyamagumi.co.jp

武蔵小杉エリアで70年



株式会社 大山組

Tel 044-411-3708 Fax 044-433-4595
〒211-0006 川崎市中原区丸子通1丁目 640-5



共同住宅
リフォーム
T様邸

「こんなこともできるとは、
思っていませんでした！」

■ 大山組のリフォーム

～ 遊び心と一体感のある二世帯リフォーム ～

高津区にお住まいのT様。この度、同区内に所有されている共同住宅2階の二世帯分のスペースを一世帯にリフォームし、親と子世帯が楽しく暮らせる二世帯住宅にしました。

見どころは、元和室の天井裏にあった屋根裏空間を活かした子ども部屋。年季の入った柱や梁がおしゃれ感を演出するとともに、子どもたちがワクワクするような遊び心のある部屋に仕上がりました。その他、キッチンには各世帯の生活スタイルを尊重し各々に設置、浴室は両世帯で共有できるよう2階中央に配置するなど、家族が一つになり暮らせる住まいが完成しました。



ここが
ロフトに!!

ロフト



子世帯洋室



親世帯キッチン



親・子世帯で
共有の浴室



子世帯キッチン



T様のお話

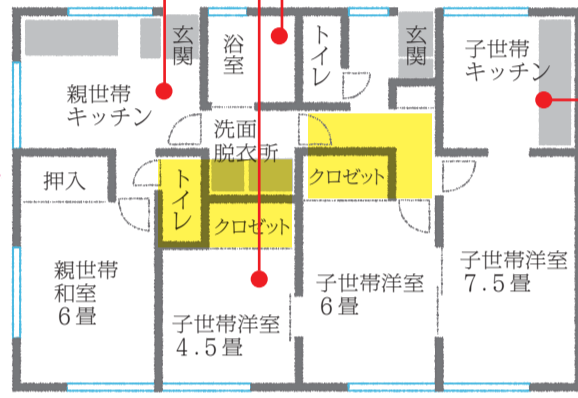
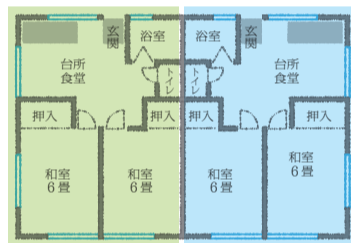


今回のリフォームは、当初水廻りのみの工事を考えていました。地元の繋がりを知っていた大山組さんへ相談をする中、私たちの家族構成に配慮した総合的なリフォームプランを提案して頂きお願いすることになりました。二世帯住宅ということで最低限の独立性は保ちながら、遊び心と一体感のあるプランがと

ても気に入りました。中でも、ロフト付きの子ども部屋は、屋根裏の有効活用を考えていた中での提案でしたので、実現できてとても嬉しく思っています。親世帯、子世帯が楽しく過ごせる住まいが完成し、大山組さんには大変感謝しています！

After

二つの家を
一つに!



before
二世帯賃貸時代の間取り

【物件概要】○工事内容/内装リフォーム ○用途/集合住宅
○築年数/28年 ○川崎市高津区下野毛

社長の目から
ウロコが落ちる



第3回

川崎フロンターレが連覇しました。スポンサーとして担架に広告を出させてもらうようになって早5年。元々はサポートカンパニー(シーズンシートが特典)でしたが、当時のフロンターレの武田信平社長に大学同窓のよしみ(私の方がだいぶ後輩ですが)でお誘いを受けたのが始めたきっかけでした。

スポンサーシップにはユニフォームへの名入れやゴール裏の看板など様々ありますが、当時、担架広告は誰も興味を示さない「空席」。そこでフロ

ンターレの営業さんから担架への名入れの他に、担架スタッフ(地元高校サッカー部員の持ち回り)に大山組の作業着とヘルメットをかぶらせてピッチに出したら面白いのはいかがでしょうか?と提案があり、そのユニークさに即OKしたものの、大怪我などの緊迫シーンではふざけ過ぎになるとの懸念からNGとなり、最終的には担架スタッフのビブスにロゴを入れるスタイルで落ち着きました。

それでもスタジアムでは選手が激しく倒れるたびに担架がピッチ際まで出てくるため、動く広告として十分悪目立ち?しているようで、今でも時々「担架に大山組と書いてあって怖かった」と相手サポーターにツイートされるなど、凶らずも対戦チームへの脅威となっていることは間違いなさそ

うです(笑)。

何が起きても変わらない世の中。何年後かに中村憲剛が監督でV10達成!なんて見てみたいです。気が早い?!なんだかんだ常勝川崎。これからも安全第一の担架で応援させていただきます。(^^)



小杉小学校ができるまで



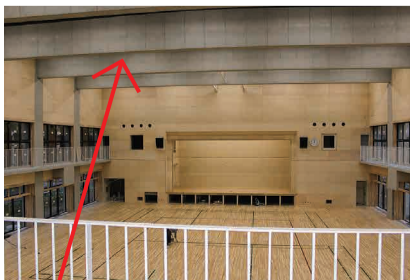
その10

～ 外構・内装工事編 ～



仮囲いが取れた小杉小の全貌

施工: 大山・野州共同企業体



内部に通る鋼材を左右に引っ張り、体育館を支えるコンクリート製の梁

仮囲いは完全に撤去され、工事もいよいよ最終盤戦。校舎棟、体育館棟の外壁仕上げと並行し、校庭のグラウンド整備が始まりました。室内では各フロア同時に内装工事を進めています。体育館内は全ての資材が撤去され作業員以外を立ち入り禁止にし、最終仕上げが始まりました。

360°ビュー最新画像はこちら



編集後記

今年の企画室、小杉小建設現場の仮囲いメッセージアート掲示、地元中学生の職業体験、各種広告企画など、元気宣言発行以外にも常にイベント続きでした。直近も「元気アップコンテスト」(神奈川県魅力ある建設事業推進協議会主催)でCCI賞の受賞を果たした大山・野州共同企業体の表彰式の取材、川崎フロンターレ連覇を受けたiTSCOMさんとのテレビ、ラジオ、紙面連動型企画などを進めています。どこから「ひょっこり」現れるか分からない大山組、来年もよろしくお祈りします!(*∇*)(た)